

はなえくぼ扶桑便り No.25

平成29年4月1日 発行
(株) ニーノコーポレーション
扶桑町大字斉藤字緑223
(0587) 93-7833

彼岸を待たずして「はなえくぼ」では、犬山、扶桑、江南でお一人ずつが静かに息を引き取られました。三人とも90歳を過ぎ、大正、昭和、平成の激動の三代の荒波にもまれながら懸命に生きてこられたお姿が想像できます。三人の功績を讃え心からのご冥福をお祈り申し上げます。

はなえくぼ扶桑でお亡くなりになった利用者様は私の身内でもありました。2月に入り食欲がなくなり、今までのような元気も声のハリもなく、大好きなお茶も飲まないで、じっと座っておられる時間が長くなりました。心配した管理者から「主治医の話を聞いて、家族が今後どのようにしたいかを話し合ってきて欲しい」と告げられました。いよいよ終末期に入ったのだと感じ、身元引き受け者と主治医を訪ねる日時を相談している矢先に、ホームで流行性胃腸炎が発生し、抵抗力をなくした叔母も罹患し、入院することとなりました。

10日ほどして医師から、老衰のため本人が安心できる場所で最後の時間を過ごすようにと、退院を勧められました。本人に気持ちをたずねると「はなえくぼに帰りたい」と言われました。「帰る途中で車の中で息が切れるかもしれないよ」と再度意思を確認し、それでも「はなえくぼに帰りたい」という気持ちが変わらなかったため、管理者はじめ職員には無理を言いましたが、はなえくぼに戻ることになりました。

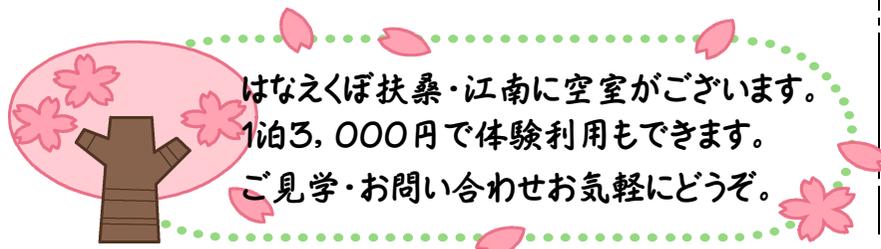
病院では何も口にすることができなかつたのに、帰ってからは少しとろみをつけたお茶や氷のかけら、アイスクリームなどを食べられたと聞くと、本当に救われた気がしました。利用者さん一人ひとりに声をかけてもらい、皆にお礼を言うこともでき、はなえくぼで最期を迎えることができたと、無理を聞いて引き受けてくださった職員の皆様には、本人にかわって感謝申し上げます。

(株) ニーノコーポレーション 代表取締役 二之湯つぎ子



『壁画作り』

4月に向けて利用者様と壁画作りをしました。壁一面に大きな木を貼り、そこに芋で作った桜の花びらを「ぺったん、ぺったん」と押し、満開の桜の木ができあがりました。真ん中に花咲かじいさんを貼ると、あつという間に春がやってきました。利用者様の手は、糊とピンクのインクでえらいことになっておりました。



はなえくぼ扶桑・江南に空室がございます。
1泊3,000円で体験利用もできます。
ご見学・お問い合わせお気軽にどうぞ。

『ぼた餅作り』

今年もお彼岸に、ぼた餅を作りました。ご飯を丸めるのが大きすぎたせいか、あんこをつけると大きなぼた餅になってしまいました。「こんな大きなぼた餅」と言いながらも、いっぱい食べてくださいました。いつも優しい利用者様に感謝です。



『園芸だより』

今年はホームでイチゴ狩りをしようと、イチゴの苗をたくさん植えました。いろいろ教えてもらいながら肥料をやったりしていますが、どうなることか……。赤くて大きなイチゴがたくさんできることを利用者さんと楽しみに待っています。



『やさしさ』

「お湯をください」と言って容器を持ってこられたAさん。「ベランダの花にやりたいんだ」とおっしゃいます。「花にはお湯ではなくお水をあげてください」とお願いすると「ベランダは寒いだろう。水じゃかわいそうだよ」と言われ「さましてからやるよ」とお湯を持って行かれます。

ホームで利用者様がお亡くなりになった日。利用者様全員が、思い思いのやり方でお別れをされていました。Aさんは、大切に育てているお花を摘んできて、枕元にそっと飾っていただきました。

毎日毎日パンジーのお世話をしてくださるAさん。Aさんからのたっぷりの愛情とぬるま湯をもらって、今日も元気に美しく咲いています。



ご見学随時受付いたしております。お気軽にお問い合わせください。

今回は、はなえくぼひくみ便りです。どうぞお楽しみに！



グループホームはなえくぼ扶桑
丹羽郡扶桑町大字柏森字辻田398

(0587) 91-0110

グループホームはなえくぼひくみ

犬山市大字五郎丸字郷瀬川17番地1

(0568) 68-8096

グループホームはなえくぼ江南
江南市小机町長者毛西132番地

(0587) 52-3808

はなえくぼのホームページ

www.gh-hanaekubo.com

ブログも時々更新しています